

群馬県立がんセンターで加療中の方へ

このたび群馬県立がんセンター 婦人科では、子宮体癌の病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

研究課題

“子宮体癌中間リスク症例の術後治療に関する意義について、後方視的に検討する”

研究施設

主任施設

群馬県立がんセンター

研究責任者 中村 和人

研究分担者 山下 宗一

共同研究機関

群馬大学医学部附属病院産婦人科

責任者：岩瀬 明 分担者：中尾 光資郎、北原 滋和

高崎総合医療センター産婦人科

責任者：伊藤 郁郎 分担者：西村 俊夫

研究期間

調査対象期間：2009年1月1日から2015年12月31日まで

データ収集期間：倫理委員会承認時～2022年12月31日まで

研究対象となる方

2009年1月1日から2015年12月31日の間に治療開始前の診断で手術治療を受けた、子宮体癌の患者。

研究目的

子宮体癌の初期治療としては、一般的に手術治療が第一選択とされます。術後病理結果から再発リスク因子を検討することにより、再発低リスク・中間リスク・高リスクと診断されます。再発低リスクの場合、術後治療の適応にはなりません、逆に高リスクの

場合、患者の状態が許せば術後治療が勧められます。一方中間リスクの場合、その内容には幅があり、施設基準あるいは主治医の判断に委ねられて術後治療の適否が判断されることが多いのが実情であります。今回の研究では、再発リスク内容を検討することにより、適切な術後治療の適応を確認することを研究の目的としました。当院のみからの症例集積では解析に必要な症例数を確保することは困難と考えられるため、多施設共同研究として本研究を計画しました。

研究方法

診療録から以下の患者さんの情報を収集し、解析します。従って、患者さんには新たな負担は発生しません。

- 1) 治療開始前情報
年齢、手術日、血液検査結果（腫瘍マーカー：CA125）
- 2) 手術情報
手術日、術式
- 3) 術後情報
術後病理結果：組織型、筋層浸潤の程度、脈管侵襲の有無、術後治療の有無とその内容、術後合併症、最終生存確認日、再発確認日、死亡された場合はその死亡日

患者情報の保護

個人情報、試料、データ等を正確に検証が可能なように記録し、外部からのアクセスができない場所に保管します。公表の際には個人を特定できないようにして行います。患者の氏名、生年月日、カルテ番号、イニシャルなど患者が同定できる情報は用いませんが、追加調査が必要になる可能性もあります。その場合に備えて、各研究施設において符号を用いて患者情報を保管し、追加調査に対応できるようにする予定です。

研究成果の公表

本研究の成果は、提供者本人及び家族の氏名等が明らかにならないようにして、学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

問い合わせ先

373-8550 太田市高林西町 617-1 群馬県立がんセンター婦人科
中村 和人
電話 0276-38-0771 Fax 0276-38-8386